

「脅威論」を考える

その一 北朝鮮のミサイルが石垣島を襲うことはありません



2018年8月3日 FB ページに投稿

石垣島にも自衛隊がいた方が良く、だって中国や北朝鮮は何をするか分からないから、というご意見を良く聞きます。たしかに、ひと頃の北朝鮮のミサイル発射実験や、政府が各地でやらせている「ミサイル避難訓練」などを見ると、もしあれが飛んできたらと、不安になることはあるでしょう。

でも、北朝鮮について言えば、石垣島をミサイルで攻撃するなんて、まずあり得ない話です。現に、防衛省も、そんな心配は全くしていません。

誤解している人もいるようですが、防衛省が石垣島に配備しようとしているミサイルは、北朝鮮の弾道ミサイルを落とすためのものではありません。軍艦を撃つミサイルと、軍用飛行機を撃つミサイルの2種類で、主に中国を対象にしています。両方とも、弾道ミサイルを撃ち落とす能力はありません。

では、なぜ、北朝鮮の石垣島攻撃は、あり得ないと言えるのでしょうか。

今年の1月10日付産経新聞の【経済インサイド】によれば、北朝鮮の経済力（GDP）は、日本の47都道府県中最下位の鳥取県とほぼ同規模で、アメリカの約1000分の1だそうです。北朝鮮の弾道ミサイルは、金正恩政権を守るために、この貧しい経済力を総動員して、対米「核抑止力」として開発したものです。「攻撃したらやり返すぞ」と脅して、攻撃させないための、なげなしの、虎の子の、超高価な兵器です（下の表は、同記事より）。

各国の名目GDPの比較

 米 国	2020兆1046億円
 日 本	538兆4458億円
 韓 国	154兆3218億円
島根県	2兆3823億円
高知県	2兆3495億円
 北朝鮮	1兆8237億円
鳥取県	1兆7792億円

もしこれを先に使ったら、アメリカの圧倒的な軍事力で一瞬にして国が滅びる「自殺行為」になることは、誰よりも金正恩政権が一番良く知っています。だから、確実に攻撃されると判断しない限り使わないし、もしそうなったとしても、その時の攻撃目標はワシントンとアメリカ本土です。北朝鮮の核弾頭はせいぜい60基と言いますから、アメリカ攻撃だけで、手持ちはほぼなくなってしまうでしょう。

中・短距離の通常弾頭ミサイルで日本を攻撃することもほとんどないでしょうが、あったとしても、目標は米軍基地や大都市です。

北朝鮮が、虎の子の大事なミサイルを、何の戦略的意味もない石垣島の攻撃に使うなんて、万に一つもありません。

幸い米朝対話も始まり、朝鮮半島の非核化と朝鮮戦争終結の展望も出てきています。心配するよりも、この新しい流れを進める方が良さそうです。

参考：産経新聞 web 版 2018 年 1 月 10 日 記事 「【経済インサイド】北朝鮮GDP、鳥取並み 米朝関係は日本の地方自治体が世界一の大国にケンカの構図」

<https://www.sankei.com/politics/news/180110/pl1801100001-n1.html>